

誠心 まごころ

第8号
2021年1月1日 発行

発行
医療法人社団 誠広会
平野総合病院



外来医事課職員

医事課の紹介

事務次長 兼務 医事課 課長 浦野 俊彦

医事課では、外来診療や入院の受付、医療費の会計、そして保険請求業務など様々な事務的業務を行っており、患者さんが安心して医療サービスを受けられるよう努めています。

患者さんの来院時に、最初にお会いする窓口が「医事課」です。

来院された方が抱えている病気などの不安を少しでも和らげ、より良い信頼関係を保てるよう、笑顔で親切丁寧な接遇に心がけています。

また、医師や看護師、コメディカルが行った医療行為を診療報酬として算定する為に豊富な知識が要求される専門性の高い部署でもあります。2年に1度国による保険診療に関する大きな

改定が行われますが、近年では並行して高額医療費や難病治療に関する制度など、医療制度が目まぐるしく変化しています。そのため、病気に対する不安だけでなく、制度や費用など、心配ごとを複数抱えている患者さんも多くいらっしゃいます。医事課職員は、そういった不安を取り除けるよう、日頃より知識の習得に励んでいます。

お困りのことがございましたら、東館1階受付にお声かけください。

慢性心不全看護認定看護師 紹介

心不全という疾患は慢性病であり、発症したその日より悪くならないようコントロールしていかなければならない疾患です。お薬によるコントロールはもちろんですが、食事や運動をはじめとする生活の是正によるコントロールも必要になります。

心不全をコントロールする上で最も重要なことは、患者さんやそのご家族が心不全という疾患を知ることです。発症時からの生命予後や増悪頻度も患者さんによりまちまちです。心不全の増悪時には呼吸困難感をはじめとする苦痛症状を伴います。増悪頻度の軽減・生命予後の改善、これらは患者さんやご家族の疾患管理能力に大きく左右されます。

平野総合病院において、患者さんやご家族の疾患管理能力が向上するよう日々邁進しております。入院中は岐阜大学附属病院の矢口医師と毎週水曜日に心不全カンファレンスやラウンドを実施しています。退院後は1日でも長くご自宅等

慢性心不全看護認定看護師 大野 達也

で健康に生活できるよう、外来でのフォローアップや退院後の自宅・施設訪問を実施しています。心不全が進行した時に少しでも苦しむことなく過ごせるように、ご家族や主治医・担当看護師と心不全緩和ケアについて調整し、支援させていただいております。

心不全患者さんやそのご家族にとって良きアドバイザー、そして良きパートナーとして、患者さんやご家族とともに笑顔で過ごせる未来を最優先に考え日々活動しております。



看護部感染対策委員会 紹介

2018年度より、愛知医科大学病院感染制御科から専門医を毎月派遣して頂き活動を行っています。専門医から感染管理についての助言やアドバイスを基に院内感染対策に努めています。

2020年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で混乱するなか、「院内にウイルスを持ち込まない、広げない」を目標に病院入り口では検温、マスク着用の徹底、2時間毎のアナウンスによる院内換気の徹底、職員の健康管理を重点に、病院全体で感染対策に取り組めるよう日々働きかけを行っています。

看護部感染対策委員会委員長 磯山 美帆

入院患者さんやご家族には面会制限等でご迷惑をおかけしていますが、安心して外来診療や、入院生活を送っていただけるよう活動を行っています。



地域包括ケア病棟 紹介

西館 2 階

「地域包括ケア病棟」とは急性期治療を終了し病状が安定した患者さんに、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。

従来は一般病棟で症状が安定すると、早期に退院して頂いてました。しかし、在宅での療養に不安があり、もう少し入院継続し社会復帰できる患者さんの為に「地域包括ケア病棟」を準備し、安心して退院して頂けるよう支援しています。

ここでは、心身の状態が回復するよう医師や看護師、病院専任の相談員や病棟専従のリハビリテーション課のスタッフが在宅復帰に向けて治療・支援を行っていきます。

地域包括ケア病棟の看護師には

「入院の受け入れ」「退院に向けての意思決定の支援」「退院や療養に関する不安解消」「退院に向けての家族支援」「他職種連携のコーディネーター的役割」など多くの役割が求められます。これからも、その期待に少しでも答えられるように日々頑張っていきます。



療養病棟 紹介

西館 4 階

療養病棟は慢性期の治療ステージにある患者さんが、長期に亘る療養を目的とした病棟です。病室や談話スペースなど、長期療養に相応したゆとりある設計で、安心して療養生活を送ることができます。40床あった病床を令和2年7月より48床へ増床致しました。

入院中は患者さんが快適に過ごせるよう、スタッフが親身になってケアやリハビリを実践し、心のこもった環境づくりに努力しております。また、慢性期医療における看護の質向上のため、勉強会やカンファレンスを通して、よりよい看護を実践できるように取り組んでおります。

今後は、看護職員が中心となって四季折々の行事を行う予定であり、患者さんに心地よい入院生

活を送っていただけるよう努力いたします。

